

Ⅲ-2 言っただけでできるようになる子どもはいません

エピソード

小学3年生の太郎君は、とても元気な男の子です。いつも学校から帰ると、大急ぎで宿題を済ませ、外に飛び出していきます。机の上には、教科書やノート、筆箱が乱雑に置かれたままです。ランドセルもベッドの上に、中味が半分出た状態で投げ出してあります。

お母さんは、「きちんと片付けてから遊びに行きなさい」と声を掛けているのですが、いっこうに直りません。たまに「片付けたよ」と言うので部屋をのぞいてみると、机の上にノートや筆箱が重ねて置いてあるだけです。その周りにはおもちゃがいくつも出したままになっています。こうしていつもお母さんが、子ども部屋を片付けることになってしまいます。

夜になって太郎君は、翌日の時間割をそろえていました。しかし、明日持っていくようになっている30センチものさが見つかりません。

太郎君が、「お母さんが、勝手にぼくの部屋を片付けるから分からなくなるんだよ」と文句を言いました。

お母さんは、「太郎が部屋を片付けないからいけないでしょ」と、大きな声で怒ってしまいました。



Work① 太郎君とお母さんになって、ロールプレイをしてみましょう。

Work② お母さんの今までの対応について話し合ってみましょう。



Work③ 27ページのアドバイスの言葉にあてはめて、太郎君に片付け方を教える手順や留意点を考えてみましょう。

アドバイス

①子どもが自分から取り組めるような方法や言葉掛けを考えてみましょう。

「片付けなさい」「～しなさい」という命令口調だけでは、子どものやる気をそぐこととなります。また、自分で判断せず、その場限りで動く子どもにしてしまいます。

有名な言葉に「言って聞かせ、やって見せ、やらせてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」があります。



言って聞かせる

- ・片付け等が大切であることを命令口調でなく伝える。

やって見せる やらせてみる

- ・手順を一つずつ説明しながら、やって見せる。
- ・かえって手間がかかっても、やらせてみる。
- ・最初は一緒にやって、徐々に手を引いていく。

ほめる

- ・きれいに片付けられなくても、片付けた行動自体をほめる。
- ・1週間続いたら、「続いたこと」をほめる。
- ・家族みんなの前で、にこにこ顔でほめる。

②収納ボックスなどを工夫し、手際よく片付けられる方法を考えてみましょう。

③小学校低学年の子どもにはチェック表を作成し、一緒に点検しましょう。

資料 家庭で守らせている決まりやルール

あなたご家庭で、お子さんに守らせている決まりやルールは、どんなことですか。

選 択 肢		全体	年少児	年中児	年長児	1~3年生	4~6年生
①	食事のときはテレビを消す	5.5	7.8	7.8	5.2	4.8	4.6
②	場に応じて「ありがとう」や「ごめんなさい」を言う	21.8	23.6	21.8	22.3	21.5	21.2
③	遊んだ後は片付ける	16.4	16.7	17.8	18.1	16.5	14.6
④	脱いだ靴をそろえる	5.1	4.4	4.3	5.8	5.3	5.0
⑤	きょうだい仲良くする	8.9	8.3	10.0	7.8	9.3	9.3
⑥	パソコンやカメラ、携帯電話は勝手に触らない	2.0	2.0	0.9	1.6	1.6	2.7
⑦	「おはよう」「おやすみなさい」のあいさつをする	14.7	12.7	14.0	14.5	13.0	16.1
⑧	時間を決めてテレビを視聴する	3.9	3.9	3.3	2.6	5.6	4.6
⑨	出された食事は残さずに食べる	10.0	8.3	8.8	10.1	10.4	10.4
⑩	歯磨きをする	11.7	12.3	11.3	12.0	12.0	11.5
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【愛知県幼児教育研究協議会 実態調査の概要（平成21年度愛知県調査）より】